

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	現状・対応・目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%				・10人を超えた時は、狭く感じることはあるが、利用者数に合わせて、個室や公園など活用しています。 ・曜日ごと利用者によって部屋のレイアウトを変更していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	50%	50%			・利用者数によって職員が少ない時があります。 ・人員基準は厳守しながらも、利用者数や児童の特性など、状況によって人員を増やしていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33%	50%	17%		・事業所が2階であるため車椅子の方は利用不可だが、座位が保てる児童の受け入れたことがあります。 ・利用については、その都度相談して決めています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	50%	50%			・CAの部分が不足していることがあります。 ・事業所での支援会議や日々振り返りを繰り返していき、より良い支援を目指していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%	17%			・アンケートを基に意向や状況を把握をした上で目標設定しているが、それでも改善が生かされていない部分があります。 ・1年の改善結果を基に来年度の改善案を事業所で共有します。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%			33%	・自己評価結果は、事業所のホームページで公表しています。 ・保護者の周知は、マチコミを通して行い、職員の周知は、連絡事項として共通認識とします。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33%	17%	17%	33%	・第三者の外部機関が評価を行っていません。 ・外部のコンサルタントが業務改善に携わっています。 ・現在、外部評価を導入する予定は、ありません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%				・今年度より感染症に留意しながら、月に1回実施しております。 ・来年度も引き続き、3事業所合同研修を実施予定です。 ・今後、研修の様子など保護者や外部に周知していく予定です。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%			50%	・複数の目録で支援が出来ていない時があります。 ・支援分析を少人数で行い決めているため、全職員への支援計画会議を促進し、計画を実施していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	17%		33%	・アセスメントシートは初回に使用し、その後は日々の支援記録を基に個別支援計画を作成しております。 ・アセスメントは、利用前に職員内で共有しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%	17%			・プログラムを複数の担当で計画しています。 ・担当以外にも職員同士でアイデアを出して質の良いプログラムを心がけてます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	50%	50%			・勤務歴が長くなるとマンネリ化を感じる部分があります。 ・職員同士で、児童に必要な内容やプログラムをアイデアとして出せる会議を開催します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	50%	17%		33%	・原則平日・休日問わず課題を固定になっています。 ・個々の課題に対して個別支援計画を基に個別で対応する内容を作って行きます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				・月ごとにプログラムを設定し、楽しみながら取り組んでいます。 ・個別活用は、宿題や個別課題を学習時間や自由時間を使い、個々のレベルに合わせて取り組んでいます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				・事前ミーティングは必ず行い、一日の流れや注意事項、前回の反省を踏まえて共通認識を把握しています。 ・不参加の職員は、事後報告をして役割分担を明確にしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%				・反省会は必ず行い、児童の情報を共有しています。 ・内容によっては、当日に保護者へ連絡を入れて、保護者と連携を密に行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証・改善につなげているか	83%	17%			・担当者以外の課題に対してすべてを把握するのは難しい。 ・担当者ごとに支援記録をまとめ、その他の情報は職員同士で確認して正確な記録を残していきます。
関係機関 や保護者 との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	50%	17%		33%	・コロナの影響により、支援計画会議を少人数で行ってました。 ・月1回の支援会議で児童の情報を共有し、改善が必要と判断した場合保護者同意のもと支援を変更していきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	50%	17%		33%	・ガイドラインについて、初回研修で説明しています。 ・ガイドラインをより理解を高め、基本的活動をもとに具体的な支援方針を示していきます。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	50%			50%	・相談支援を利用する児童については、相談支援員へ定期的にモニタリング結果をお伝えしています。 ・会議は児発管が対応し、会議の情報を職員に共有します。
	21	学校との情報共有(年間計画等の交換、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	83%			17%	・お迎え時に学校での様子や出来事を確認しています。 ・支援会議が必要な場合、学校を連携を取り実施しています。 ・事業所のトラブルは保護者を通して学校へお伝えしています。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		33%		67%	<ul style="list-style-type: none"> ・該当児童がいません ・連携医療体制は、会社と結んだ医療機関と連携をしています。 ・担当医がいる場合、事前にアセスメントを確認しています。 	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園や児童発達支援事業所等と情報共有や相互理解に努めているか	17%	33%		50%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園等と連携しないケースが多いが、利用前に生育歴や支援経歴など確認した上で個別支援計画を立てています。 ・必要性がある場合は、情報共有していきたいです。 	
	24	学校卒業後、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容等の情報を提供する等しているか		50%			50%	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍中より福祉サービスが必要な児童については、説明や実際に利用してもらっています。 ・必要に応じて支援情報などをお伝えしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%				50%	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との研修を今年度実施し、知識や情報を得ています。 ・複数事業所を利用している児童は、様子や特記事項などを他事業所と情報共通するように心掛けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		17%	50%		33%	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の学童とは、公園や公共施設で利用する場合はありますが、プログラムとして交流する機会はほとんどありません。 ・地域のイベントは、地域の子どもと交流する時があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	50%				50%	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会は、可能な限り参加しています。 ・協議会での情報を職員に共有するように心掛けます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%					<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの様子や日々の成長など、1日の出来事は、連絡帳やお電話でお伝えしています。 ・キッズの様子を通信として保護者のみ配布しています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	66%		17%		17%	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に家庭での様子を確認し、家庭で行える支援についてはアドバイスさせてもらっています。 ・保護者の思いを事業所として本人伝え、支援に繋げています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	66%	17%			17%	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に丁寧に説明し、安心して利用してもらっています。 ・運営規程は、変更がある度に保護者に通知しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	66%	17%			17%	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に相談を受けることが多くあります。 ・面談は、常勤と児発管が主に担当し、本人のみならず兄妹や家庭の状況を踏まえて、アドバイスさせてもらっています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33%	17%			50%	<ul style="list-style-type: none"> ・現在保護者の会は、実施していません。 ・社会情勢や保護者からの要望をもとに実施は検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備や子どもや保護者に周知し、苦情の場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%				<ul style="list-style-type: none"> ・苦情や問題が発生した場合、管理者に報告し状況の把握を行い、迅速な対応を行っています。対応後に事例検討や再発防止策を行い、職員に周知します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%					<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度、ひまわりキッズ通信して、月ごとの様子を写真やコメントを用いて周知しています。 ・今後は、様々な形態で児童や保護者に周知していきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	50%	33%	17%			<ul style="list-style-type: none"> ・書類や荷物の取り間違えが発生することがありました。 ・重要な個人情報については、鍵付の書庫に保管しています。 ・個人情報の扱いについて、全職員に誓約を結んでいます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	67%				33%	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の障害特性を踏まえた上で、声掛けや方針を決めています。 ・事業所からの情報が一方通行なケースもあるため、コミュニケーションと頻繁に行い、連絡を密にします。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33%	17%			50%	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症流行により実施していません。 ・コロナ流行前は、地域の方を招いてクリスマス会などを主催したこともありました。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	67%				33%	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルはあるが、全体周知や実施の再現性が薄い。 ・マニュアルは、研修を通して実践しつつでも実行できる状況と知識を蓄えていきます。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	83%	17%				<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、地震・火事を想定とした訓練を年に2回、1週間を通して全児童・職員が訓練するように行っています。 ・防災施設の見学や体験を通して理解を深めていきます。 	
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	83%				17%	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回、虐待研修を通して、虐待や適切な支援を見直す機会を作っています。 ・今後は、虐待チェックリストを定期的実施予定です。
	41	やむを得ず身体拘束を行う場合を組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	33%				67%	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、身体拘束が必要な児童はいません。 ・今後必要と判断した児童に対しては、個別支援計画を基づいて保護者の同意を得た上で実施し、適切な記録を保護者に説明します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	17%			33%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用前にアセスメントよりアレルギーの確認を行っています。 ・アレルギーがある児童のリストより、除去食や代用品を用いて対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	67%				33%	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットは、反省会などで共有しています。 ・欠勤職員に対しては内容を伝達していますが、長期欠勤職員との情報共有を心掛けます。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	意見・現状・対応
環境・ 体制 整備	①	こどもの活動に対して適切なスペースが確保されているか？	80%	20%			・落ち着くためにスペースなどあり、使い分けれています。 ・個室が3つあるので、プログラム、宿題、おやつなどを同時進行で部屋を使い分けしています。
	②	こどもに対して職員の配置数や専門性は適切であるか？	93%	7%			・職員は、児童指導員と保育士の資格を持っています。 ・プログラムによっては、専門の講師が指導してくれています。 ・学生は、職員が少ない日に出勤しています。
	③	事業所は、バリアフリー化や事業所の特徴から子どもに配慮がされているか？	73%	27%			・階段が少し急で転倒した時に危ない ・事業所内は、バリアフリーのためどなたでも使いやすいです。 ・事業所への階段は、滑りにくい素材を検討していきたいです。
適切な 支援の 提供	④	個別支援計画書は、適切に作成されているか？	100%				・半年に1回以上は、必ず面談を基に作成しています。 ・面談の前に事前アンケートを行い、家庭や学校などの様子を踏まえた上で適切な個別支援計画を作成しています。
	⑤	活動プログラムは、個々に合わせて適切に提供されているか？	80%	13%		7%	・少しバリエーションがほしい ・平日プログラムは固定のため、複数利用者は内容が被ることがある。 ・バリエーションを増やし、適切なプログラムを企画していきます。
	⑥	交流会や経験等、社会性が身に付く活動機会がなされているか？	93%	7%			・電車での外出や地域のイベント、縁日に連れて行ってもらった ・家庭、学校で経験できない体験ができています ・今後も事業所でしか経験できないことを増やしていきます。
保護者 への 説明等	⑦	面談時に支援の内容、評価等について丁寧な説明がなされたか？	100%				・個別支援計画の中間評価として、評価や状況をお伝えしています。 ・普段、児童から聞けない出来事や友達関係など、良い・悪い点をすべてお話ししています。
	⑧	日頃より子どもの様子を保護者と伝え合い、発達状況や課題について共通理解ができていますか？	100%				・様子を教えてもらえるのでありがたい ・日頃より児童の様子は、連絡帳の他に送迎時にお伝えしています。 ・課題は、自宅や学校でも取り組める対応を提案しています。
	⑨	保護者に対して育児に関する事や悩み事への助言等の支援が行われているか？	80%	20%			・育児での悩みや進路の相談は、面談に可能な限りお話しします。 ・難病等で専門的な知識や育児の悩みについては、職員によって勉強不足なこともあるため、研修を通して知識を高めていきます。
	⑩	学校や他事業所、関係機関等と連携して支援されているか？	53%	47%			・時間等が合わないため事業所同士話し合っていない ・学校や関係機関と連携が必要な児童においては、保護者の許可を得た上でカンファレンスや施設見学などを実施しております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応しているか？	74%	13%		13%	・苦情したことがないため不明 ・苦情については、迅速かつ適切な対応を心掛けております。 ・苦情による防止策がある場合、保護者に周知しております。
	⑫	活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を保護者に対して発信しているか？	100%				・マチコミで送ってくれている ・前月に月間プログラムを周知し、簡単な説明を掲載しております。 ・プログラムの詳細は、マチコミで周知しております。
	⑬	個人情報に十分注意しているか？	86%	7%	7%		・気にならない、誤封入があった ・請求書など重要な書類に関しては、ダブルチェックを行います。 ・職員には、個人情報の取扱いの研修を実施していきたいです。
非常時 等の 対応	⑭	緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知されているか？	80%	20%			・緊急事態の避難場所や連絡方法は、契約時にお伝えしています。 ・緊急時や感染症のマニュアルがあるが、研修や実施状況の周知してきていないため、SNSなど活用して保護者に周知していきます。
	⑮	非常事態に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか？	100%				・年に2回、一週間を通して、避難訓練を実施しています。 ・全児童が1回以上参加できるようなプログラムを用意しています。 ・今後は、事業所外での避難訓練も実施していきます。
	⑯	災害や事故等の非常事態が発生した場合、適切に対応することができているか？	67%	33%			・非常事態が発生していないため不明 ・感染症流行や雪予報による閉鎖や送迎時間の変更など保護者に承諾を得て対応しております。
	⑰	利用時に安全対策は、十分にされているか？	100%				・安全を最優先にした上で、プログラムを用意しております。 ・事前の試作品や、おやつのお食、外出先の下見など可能な範囲で安全かつ充実した支援を心掛けています。
満足 度	⑱	子どもは通所を楽しみにしているか？	93%	7%			・制作、おやつを楽しみにしています。 ・楽しみにはしていないが、いけば楽しんでいる様子 ・楽しみながら学ぶをモットーに事業所での工夫をしています。
	⑲	事業所の支援に満足しているか？	100%				・本人の気持ちに寄り添った丁寧な支援してくれています。 ・児童に充実した支援を出来るように日々、職員でアイデアを出しながら取り組んできました。

事業所自己評価シート

事業所の強み

- ・子どもの様子を保護者と情報共有が出来る
- ・個別の目標達成状況を明確にしている
- ・おやつが手作りで食育に力を入れている
- ・クールダウンなど個室を活用できる
- ・若手と熟年がバランス良い職場である
- ・アットホームで働きやすい環境である
- ・個に対する支援を大切にしている
- ・幅広く年齢問わず支援が出来る
- ・講師が指導するプログラムがある
- ・たくさんの経験が出来る
- ・子ども同士が認め合い、助け合うように意識している

事業所の改善点

- ・掃除が行き届いていない
- ・備品に損傷や劣化が見られる
- ・プログラムが固定化しつつある
- ・日によってスタッフが足りない
- ・支援が重度な方に偏りが出てしまう
- ・個々の話し合いの掘り下げが不十分である
- ・全職員が集まる機会が少ない
- ・時間に追われてしまう場面がある
- ・事務処理でミスが目立っている
- ・手を抜いていると思われる

事業所の改善への取り組み

- ・非常勤の勤務時間を長くすることで、掃除や事務作業の役割を与える
- ・話し合いの機会や研修を増やし、内容の充実したプログラムを企画する
- ・職員数を確保して、休みや働きやすい環境をより良くしていく
- ・月に1度、全職員が話し合えるミーティングを実施していく
- ・支援会議の開催回数を増加させていく
- ・備品管理は、リストアップして常にチェック体制を作る
- ・職員同士の意見が出しやすいような体制を実施していく

来年度の目標

支援目標

全児童が笑顔で溢れる支援

事業所目標

様々な環境を整備して、働きやすい環境を作る